

平成 29 年度進行管理・評価シート
 甘楽町歴史的風致維持向上計画（平成 22 年 3 月 30 日認定）
 （最終変更平成 29 年 3 月 24 日）


□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画推進に向けた庁内の連携体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	—
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 名勝楽山園周辺集計整備事業	2
2 雄川堰整備事業	3
3 織田氏七代の墓整備事業	4
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・防災	5
2 文化財の普及・啓発	6
3 重点区域における伝統的建造物群保存 地区の制度の導入に向けた取組み	7
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 「七代の墓」周辺 公園整備し観光客誘致 ほか	8
⑥その他(様式1-6)		
1 施設整備後の活用と歴史文化啓発に 関する事業	10
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	11

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
計画推進に向けた庁内の連携体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	甘楽町歴史的風致維持向上計画推進会議及び同計画推進プロジェクトチーム、各事業者との連携を図りながら適切に計画を推進する。計画掲載事業の進捗状況の確認、評価を行い、定期的な報告、意見の聴取等を実施し、実効性を高めるとともに、必要に応じた計画変更を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
建設課、産業課、企画課及び社会教育課からなる甘楽町歴史的風致維持向上計画策定委員会・専門部会及び庁内各部署からの意見聴取により事業の進捗管理・評価について協議を行った。特に重点区域内で実施されている事業並びに今後実施が予定される事業については、まち歩きを実施しながら町の歴史的風致の維持及び向上のための施策への理解と今後の事業展開に対する提案のとりまとめを行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	各部署との連携・調整、庁内横断的な意見聴取による体制強化を今後も図っていく。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p>組織体制(H29. 4)</p> <p>【企画課】 企画調整係:3名</p> <p>【建設課】 都市計画係:4名 建設係:3名</p> <p>【産業課】 商工観光係:4名</p> <p>【社会教育課】 文化財保護係:3名</p> <p>【その他部局】</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>■ 推進協議会(H30.3.19)</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>甘楽町歴史的風致維持向上計画に係る会議等開催状況</p> <p><策定委員会専門部会> 今年度の事業推進について ・平成29年 5月 9日</p> <p><推進協議会> ・平成30年 3月19日</p> </div> </div>			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
名勝楽山園周辺修景整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～平成31年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	名勝楽山園周辺の景観保全のための修景整備を図るとともに、休息施設等の交流の場を設けることで来訪者との交流を推進し、他施設との回遊性の向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成29年度は、名勝楽山園の東に近接した用地について、ベンチの設置等の修景整備を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	回遊性及び景観の向上のため、事業箇所を広げて整備を進めていきたい。		
状況を示す写真や資料等			
<p>■事業着手前</p> 		<p>■整備後</p> 	
			

評価軸③-2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	評価対象年度 平成29年度 現在の状況
雄川堰整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～平成31年度
支援事業名	農山漁村地域整備交付金(地域用水環境整備事業)
計画に記載している内容	町の歴史的風致の中核をなす雄川堰(大堰)の石積み改修を行うことにより、雄川堰の保存・活用を図る。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
平成29年度は、重点区域内の雄川堰・洗い場の改修1箇所(両岸・延長20.4m)を実施し、景観の維持に努めた。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	住民の洗い場等の修繕に寄せる期待は大きい。また、地元説明会等を通じて、雄川堰の資産価値を啓発していく必要性などの意見も寄せられている。雄川堰に架けられた橋の修復には、設置位置などを含め、景観に配慮したものとしていくため、住民との協議が大切となってくる。
状況を示す写真や資料等	
<p>■大堰洗い場改修</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%;">  </div> <div style="width: 50%;">  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%;">  </div> </div>	

評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
織田氏七代の墓整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～平成31年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(H27～H31:都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	織田氏七代の墓は、城下町小幡の歴史やまちの成り立ちを知る上で重要な場所である。しかし現状では、墓周辺はほとんど整備がなされておらず、景観的にも煩雑な状況となっている。 当該エリアを「織田公公園」として整備することで、町指定文化財である織田氏七代の墓の活用と周辺の良好な景観形成が図られる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成29年度は、主に公園広場部分の整地、園路、法面の整備工事を実施した。平成31年度の完成に向けて引き続き整備工事を進めていく。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	公園として整備していくが、例えば落下防止柵には金物フェンスではなく織田式塀を設置するなど指定史跡である織田氏七代の墓の風致を損なわないような整備に努めていく。		
状況を示す写真や資料等			
■事業着手前 		■1期工事完了後 	
			
■整備計画図 			

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財は、当町の歴史や文化を正しく理解するために必要なものであるとともに、地域の歴史や文化を発信するための貴重な資源である。このため、文化財を適切に保存しつつ、活用を図ることは重要なことであるため、積極的に推進する。 甘楽町防災計画や総合計画を基本に、防災体制を整えるものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「国指定名勝楽山園消防計画」を策定(平成26年6月5日)したほか、消防団による文化財周辺の水利確認や夜間の警戒巡視による予防消防に努めると共に、有事の際に備えた地域防災訓練を町内で実施している。文化財近隣においては、自治会住民による消防援助隊も組織されており、地域全体で文化財を保存していく活動により住民意識の向上が図られた。 その他、町では(毎年)1月26日の文化財防火デーに合わせて、文化財に関わる職員の防火訓練を実施し、防災意識の向上を図っている。また、町指定重要文化財である中小路の石垣(山田家)の改修や地域で保管管理する重要無形民俗文化財の修繕、新調などの支援により、文化財の保護・継承にも成果を上げた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	なし		
状況を示す写真や資料等			
■重要無形民俗文化財用具修繕 (平成29年10月)		■消火訓練 (平成30年1月26日) / 名勝楽山園にて 消火器具の使用法講習を受け、訓練に当たる住民と施設職員	
			
■町指定重要文化財「中小路の石垣(山田家)」改修			
		⇒	

評価軸④-2 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
文化財の普及・啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	現在、ほとんどの指定文化財には、広く文化財に対する理解を得るため説明板を設置している。また、『甘楽町の文化財』などの啓発的な冊子を頒布して住民への周知を図っている。一般公開されていない指定文化財は、所有者と協議し、期間限定で公開するなどの従来行っていなかった方法を模索し活用を進めている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
地域の財産である文化財を住民とともに守り継承するため住民ボランティアを募集し、研修を通じて啓発に努めた。また、町指定文化財に理解を深めてもらうため名勝楽山園の夜間特別公開などを実施。また、毎年11月3日に民俗芸能大会を開催し、古くから伝承されている重要無形民俗文化財の発表の場を設けている。なお、文化財の活用については、文化財ボランティア組織等と協力し文化財の一般公開を進めるとともに催事等においてもその舞台として積極的な利活用を図った。一般を対象に募集した文化財めぐりが好評であったほか、教職員文化財めぐりは、町内小中学校の教職員が生徒・児童に対して、町の歴史、文化を身近な教材として紹介できる様にする事で、普及活用できた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	なし		
状況を示す写真や資料等			
		<p>■名勝楽山園「御殿のお月見会」 文化財理解を深めるため、夜間特別公開(琴、篠笛の演奏会を開催) 平成29年10月4日 入場者数約667人</p>	
		<p>■民俗芸能大会 獅子舞、神楽舞など、12団体、236人が出演し伝統芸能を披露した。本大会が伝統芸能の保護、後継者育成の場ともなっている。 平成29年11月3日 入場者約1,300人</p>	
		<p>■教職員文化財めぐり 甘楽町に新たに赴任してきた教職員を対象に文化財めぐりを実施。地域の貴重な文化財や歴史を授業教材として取り上げるための事業 平成29年8月4日 参加者17人</p>	

評価軸④-3 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
重点区域における伝統的建造物群保存地区制度の導入に向けた取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	<p>小幡・町屋地区の伝統的建造物が連なるについては、早急に伝統的建造物群調査を行い、作成される保存計画に基づき、各種事業を導入し、計画的に保存を進めるものとする。同時に町独自の補助制度等を制定し、必要な支援を行う。</p>		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>重点区域内においては、後継者が減少する中であるが、若い世代でも町屋地区の景観を形成する養蚕農家を修繕して残していきたい考えをもっており、支援策などの問い合わせが数件あったほか、ごく小規模な修繕であるが、景観に配慮した修復を自費で行った事例も見受けられた。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		<p>当初調査からの時間経過も考慮しながら、まち並み、建物の現地再調査などを行う必要があり、関係機関の指導のもと住民が主体となった体制を構築したうえで推進していかなければならない。地元代表者との打合せ、協議を行ったが、時間と慎重を要する面があり、当該地区における無電柱化や広告類などの景観整備、中央を北流する雄川堰の石積みや架橋の保存改修整備などを含め、地域住民との対話を基調として取り組んでいく。</p>	
状況を示す写真や資料等			

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
「七代の墓」周辺 公園整備し観光客誘致	H29.9.3	上毛新聞
夜の名勝に浮かぶ舞	H29.10.6	上毛新聞
1メートルおひつで麦飯振る舞う	H29.10.16	上毛新聞
福島小児童が座繰り体験	H29.11.22	上毛新聞
お点前 趣深く	H30.3.4	上毛新聞
ひな人形1200体お出迎え	H30.3.5	上毛新聞
稚児行列華やかに	H30.3.11	上毛新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の保存と活用、歴史まちづくり事業のアナウンスに関しては、報道による周知が効果的であるため積極的に情報発信した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<p>□計画の進捗に影響あり</p> <p>■計画の進捗に影響なし</p>	<p>積極的に情報発信したことにより、報道等で取り上げられ歴史的風致に興味を持つ来訪者が増えた。今後は、観光案内ボランティア等の受け入れ態勢の強化・資質の向上を図るとともに必要に応じて研修会等を行う必要がある。</p>

状況を示す写真や資料等

■平成29年9月3日 上毛新聞



■平成29年10月6日 上毛新聞



■平成29年10月16日 上毛新聞



■平成29年11月22日 上毛新聞



■ 平成30年3月4日 上毛新聞

お点前 趣深く

楽山園で茶会

甘楽 甘楽町の国名勝、楽山園にある「凌雲亭」で3日、春の茶会が開かれ、趣深い雰囲気の中で訪れた人たちがお点前を楽しんだ一写真。

参加者はおだやかな天候に恵まれた楽山園の風情を感じ、お茶や和菓子を味わった。

園内を楽しんでいた清水佳子さん(83)＝同町善慶寺＝は「今日は本当に良い天気。毎日のように来ているけれど、何度でも飽きない」と話していた。

会場近くではなめこ汁が無料で振る舞われたり、特産品が完



られたりして、大勢の人が訪れていた。

■ 平成30年3月5日 上毛新聞



甘楽 寄贈されたひな人形を飾る「甘楽の雛祭り」。甘楽町歴史民俗資料館主催が、同町の旧甘楽二中学校などで開かれている。約1200体のひな人形が来場者を迎えている一写真。

町内3会場

4月15日まで、二中学校を主会場に、町内の松井家住宅、同資料館の計3カ所で展示、校舎の敷地や廊下にて7段階が並び、資料館では江戸時代に作られた「翠保雛」を見られる。

ひな人形を寄贈した福口すみ子さん(82)＝同町＝は「長女が産まれた翌年に母からもらったが、最近ほしまったままだった。おのきまもうれしそうと目を細めていた。

午前9時～午後4時 期間中無休
資料館は有料開館
問い合わせは町教育委員会文化財課係(0274)4743031へ。

ひな人形 1200体お出迎え

甘楽町歴史民俗資料館主催が、同町の旧甘楽二中学校などで開かれている。約1200体のひな人形が来場者を迎えている一写真。

町内3会場

4月15日まで、二中学校を主会場に、町内の松井家住宅、同資料館の計3カ所で展示、校舎の敷地や廊下にて7段階が並び、資料館では江戸時代に作られた「翠保雛」を見られる。

ひな人形を寄贈した福口すみ子さん(82)＝同町＝は「長女が産まれた翌年に母からもらったが、最近ほしまったままだった。おのきまもうれしそうと目を細めていた。

午前9時～午後4時 期間中無休
資料館は有料開館
問い合わせは町教育委員会文化財課係(0274)4743031へ。

■ 平成30年3月11日 上毛新聞

甘楽 甘楽町福島の笹森稲荷神社(勅使河原雅典宮司)で10日、春奉例大祭が始まり、子どもたちが華やかな衣装をまとうなどして地域の伝統文化に触れている一写真。

「神幸祭」と呼ばれるこの日は、氏子たちが地域を練り歩き、神様を地域内に



笹森稲荷神社で例大祭

稚児行列 華やかに

ある「御旅會」に移した。子どもたちは稚児行列で花を添えた。「還幸祭」とされる11日は神様を元に戻し、太々神楽などが披露される。

同神社は1740年に建てられたと伝わっている。総代長の篠原昇さん(76)は「歴史ある祭りを大切にしていきたい」と話した。

評価軸⑥-1
その他

評価対象年度 平成29年度

項目

施設整備後の活用と歴史文化啓発に関する事業

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴史的・形成建造物をはじめとする施設整備・活用と「キラッとから観光キャンペーン」をはじめとする歴史・文化を基調としたイベント開催で来訪者数・施設利用者数も増加しており、甘楽町の魅力発信による認知度向上に寄与している。また、施設管理やイベントの実施における、ボランティア等の協力者数が増加している。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画の進捗に影響あり
□計画の進捗に影響なし

観光キャンペーンや各イベント実施にあたっては、住民や来訪者の声を反映させたものとしていく必要があり、意見徴収を継続して行っていく必要がある。

状況を示す写真や資料等

■雛人形展(平成30年3月3日～4月15日)



■昭和中期の町並み写真展
(歴史的風致形成建造物「有賀茶店蔵」)



■「楽山園友の会」(H24.7結成)ボランティア清掃



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	平成29年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 甘楽町歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時: 平成30年3月19日	
(コメントの概要)	
<ul style="list-style-type: none">・文化財や地域で引き継がれている行事などが風化しないよう、地域住民と力を合わせて、普及・啓発に努めてもらいたい。・観光マップなどは充実してきているが、初めての来訪者には周遊経路がまだまだわかりづらいと思われる。重点地域における周遊性を高められるよう、道路の美装化や案内板の設置等の整備を積極的に行ってもらいたい。・織田氏七代の墓周辺の公園整備工事が今年度から始まったが、甘楽町の歴史的な風致をより向上させられるよう、景観等に十分配慮した整備を進めてほしい。	
(今後の対応方針)	
町の歴史的風致の保存と普及のため、地域団体との連携強化を図りながら、情報発信や啓発事業に取り組んでいく。また、重点地域においては、周遊性の向上と良好な景観形成を図りながら整備を進めていく。	